

ごあいさつ

本日、ここに多数のご来賓や本校ゆかりの方々にご来臨を賜り、職員生徒一同打ち揃って新校舎の完成を祝うことができますことは無上の喜びであり、これ偏に皆様方のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

昭和51年4月の開校以来、今春卒業の34期生まで延べ5,050名の卒業生を世に送り出してまいりましたが、生徒たちが一日の大半を過ごす教室棟校舎につきましては、約10年毎に増改築を行ってきたものの、築35年を経過し、手狭となり老朽化に加え耐震強度等の問題にも鑑み、数年前から将来を見据えた本格的な増改築の検討を進めてまいりました。

また、阪神淡路大震災の教訓を生かしてより安全で快適な教育環境づくりのためには、耐震補強工事か新築建替かを慎重に検討してまいりました結果、全面的な建て替えを決意するに至りました。このたび、多くの方々のご理解とご支援を得て着工した教室棟校舎の新築建て替え工事もお蔭様を持ちまして無事完成の運びとなりました。旧校舎の面影を残しながら細部に意匠を凝らした設計で、創立以来の伝統を生かした知的で力強く落ち着いたもの、かつ周囲の自然環境とも見事に調和した理想的な空間をつくり出すことができました。

教職員一同、校舎建て替えを機に心も新たに本校教育の推進に一層の努力を積み重ね、国際社会に貢献する人材の育成に邁進する所存でございます。

唱歌『ふるさと』の歌詞に、「こころざしを果たして いつの日にか帰らん 山はあおきふるさと 水は清きふるさと」とありますが、この歌詞の如く、清流吉井川を望む緑豊かな丘陵地に聳え立つ新校舎は、輝かしい伝統を築きながら弛みなく発展を続ける本校を象徴する学舎として、生徒たちにとって永遠の故郷(Heimat)となるにちがいないと思っています。

なにとぞ引き続き、本校に対する皆様方の一層のご支援ご協力のほどをお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

平成24年8月28日

理事長 三 木 一 正
校長 石 原 元 秀

校舎増改築の歴史

昭和51年	2月10日	岡山白陵中学校・岡山白陵高等学校設置認可
	3月31日	旧本館校舎(鉄筋コンクリート造3階建2,316㎡)完成
	4月8日	開校式典挙行
昭和57年	4月1日	体育館1階ピロティを普通教室8室に改造増築
昭和62年	4月1日	旧新館校舎(鉄筋コンクリート造4階建1,282㎡)完成
平成7年	7月27日	管理棟校舎(鉄筋コンクリート造3階建2,722㎡)完成
	8月31日	旧本館校舎1階の管理室部分を普通教室に改築
	12月30日	体育館1階普通教室を柔道場と家庭科教室に改築
平成8年	3月31日	旧柔道場を音楽室に改築
平成10年	9月4日	生物・化学・物理の各理科特別教室及び準備室を改築
平成11年	3月31日	旧新館校舎4階大教室を普通教室に改築
平成16年	2月26日	旧第1碧翠寮学習室を情報教室に改築
平成17年	5月1日	旧第1碧翠寮学習室を技術教室に改築
平成22年	9月25日	岡山白陵校舎の新築建替決定
	12月1日	仮設校舎(運動場)建築工事起工
平成23年	3月23日	仮設校舎(運動場)建築工事竣工
	3月~6月	旧校舎解体・撤去工事
	6月29日	校舎新築工事起工
平成24年	8月25日	校舎新築工事竣工
	8月28日	新校舎完成記念式典

新校舎 概要



2012年夏 岡山白陵キャンパスが生まれ変わりました

構 造	鉄筋コンクリート造 5階建 (一部6階)		
床 面 積	建築基準法床面積対象部分	建築基準法床面積対象外部分 (バルコニー他)	
	1階	1,534.61 m ²	188.88 m ²
	2階	1,435.36 m ²	197.46 m ²
	3階	1,391.71 m ²	196.95 m ²
	4階	1,391.71 m ²	196.95 m ²
	5階	1,391.71 m ²	196.95 m ²
	PH階	127.19 m ²	
	計	7,272.29 m ²	977.19 m ²
設計施工	平錦建設株式会社		

新校舎の基本設計

新校舎は鉄筋コンクリート造5階建、一部6階、延床面積は約7,270 m²となり、旧校舎(約3,600 m²)の2倍のゆとりの中、生徒たちは明るく広くゆったりとした空間で勉強できるようになります。

校舎外観は、渡り廊下で繋がる管理棟の外装タイルとも調和するブラウン系のアースカラータイルを基調にデザイン、また、上へとまっすぐに伸びる列柱をリズムカルに配置し、旧校舎の特徴であった円柱イメージの継承を図りました。更に、新しい校舎の象徴となるよう建物中央にはシンボリックにデザインを凝らした時計塔を設えました。新校舎の顔となる正面生徒昇降口は西洋古典様式を意識した落ち着いた重厚感のある自然石の外壁の中に、モダンな金属パネルの庇をデザインしました。各教室の広さは旧校舎よりも2割近く広くなり、各教室南側には夏の日差しを和らげる効果もあるバルコニーがあり、休憩時間には生徒たちが語り、山の緑に心を休める場を提供します。全長100 mにおよぶ各階の廊下は幅約5 mのオープンな空間とすることで休憩時間や放課後に生徒たちがゆったりと集い、自由に過ごすことができるコモンスペースとして利用します。また、バリアフリー仕様を各所に採用し、スロープ等による生徒昇降口やトイレの段差解消をはじめ、車椅子利用者対応型のトイレ、エレベーターも設えました。

なお、新校舎は最新の建築基準法に基づく耐震基準を満たし、震度5強程度の中規模地震に対しては殆ど損傷せず、震度6強から7程度の大規模地震に対しても倒壊等の被害の生じないことを目標に設計されています。清流吉井川を望む緑豊かな丘陵地に聳え立つ新校舎は、輝かしい伝統を築きながら弛みなく発展を続ける岡山白陵を象徴する学舎として、周囲の自然と見事に調和したキャンパスアメニティーを創り出します。